

# 令和3年度 学生FD CHAmmit 学部提案書に基づく改善報告書

## 【国際関係学部・短期大学部（三島校舎）】

### 1 学生との協議の場について

実施日	実施内容
令和4年2月24日	CHAmmit参加者（教職員含む）及び学生スタッフ、FD委員、教務課職員等の計13名がZoomを使用し、学部提案書について1時間40分程度、実現に向けて意見交換を行い、FD委員会で検討しました。

### 2 学部提案書の対応について

#### ① 昨年度報告書の状況

項目	対応済	対応中	未対応	対応内容
オフィスアワー（専任教員が研究室に在室し、学生からの質問・相談等に応じる時間）が、オンライン授業でも機能するよう、努めてほしい。		○		対面でのオフィスアワーを利用する学生が少ない一方、オンライン授業になってから教員と学生はGoogle Classroom等の利用により24時間いつでも相談できる環境となりました。そのため、オフィスアワーでの相談が減少傾向となっています。学生・教員にとって、有益な相談ができる体制の構築が求められますが、その1つとして事前予約制の導入も検討したいと思います。事前にGoogleフォーム等で相談希望日時・内容等を申請することによって、限られた時間の中で内容の濃い相談が可能となります。
学生同士の交流の場が少ないため、対面やGoogle Classroom、「自主創造の基礎」（全学共通教育科目として1年生がクラス単位で受ける授業）を利用し、部活動・サークル勧誘を活発に実施してほしい。	○			令和2年度開講式が新型コロナウイルス感染症の影響により中止となり、令和3年5月1日に令和2年度入学生歓迎式を実施し、式終了後に部勧誘を実施しました。令和4年度は、一部の授業を除き、オンライン形式で授業を開始しますが、5月18日より教室の収容人数に対し50%未満の履修者数の科目は、対面授業となり、学生同士が交流する機会が増えると思われます。新型コロナウイルス感染症に配慮し、部勧誘をはじめ、学生同士の交流が可能な限りできるよう努めて参ります。
4年生の必修科目である「ライフデザイン」等、一部の科目については、オンライン形式のメリットを生かした授業展開をしてほしい。	○			4年生の必修科目である「ライフデザイン」は、令和4年度前学期授業実施方針に基づき、教室の収容人数に対し、履修者数が50%以上となる科目となるため、全てオンライン授業となります。なお、オンライン形式のメリットを生かした授業展開について、オンラインでも対面授業と同等の教育効果が保てることも考えられますが、オンライン授業は、新型コロナウイルス感染症に配慮した実施方法であり、本来の大学の姿である対面授業の再開に向けて、コロナ禍で経験したノウハウを生かした新しい授業スタイルの確立に努めて参ります。

#### ② 新たな課題

項目	対応済	対応中	未対応	対応内容
令和3年度後学期は、令和3年11月2日から対面授業が再開されたが、オンライン授業を継続している学生が多く、対面出席率を上げてほしい。			○	「対面授業に出席するために学生が求めていることは何か」について学生と意見交換をしました。その結果、学生に受講方法の選択権があるとオンライン形式を選んでもしまう傾向があり、対面授業の出席率を上げるには、大学側から強制力を課す意見や対面授業に出席した学生には課題を課さない授業方法（オンライン授業出席者のみ、授業の理解度を図るために課題を与える）の意見等が出ました。学生からの貴重な意見や授業評価アンケート結果等を有効的に利用した授業改善に努めて参ります。
学内のWi-Fi環境整備（速度や途切れ）、利用しやすさに努めてほしい。	○			令和3年度にWi-Fi環境整備を行ったため、学内の通信速度は向上しています。また、セキュリティに配慮するために登録制であることは一定の理解いただいておりますが、登録場所が本校舎教務課のみのため、三島駅北口校舎でも登録場所確保を検討して参ります。
SNSの有効活用により、グループチャット等で在学学生が新入生の相談に応じる場をつくりたい。			○	SNSの有効活用により、在学生から新入生に対してアドバイスができる環境を整えることは、新入生が安心した大学生活をスタートできることに繋がると考えられる一方、セキュリティ管理の問題等が発生します。投稿に対する責任の所在や内容確認等、管理面での問題が多く存在します。学生との意見交換では、「Slack」というアプリがコミュニケーション面で長けていると伺いました。学部としては、広報委員会等と連携を図り、安全性が担保された方法かつニーズの高いサービスを提供する必要性を検討します。

# 令和3年度 学生FD CHAmmit 学部提案書に基づく改善報告書

## 【国際関係学部・短期大学部（三島校舎）】

### ③ 「IT化と大学教育」へ向けての提案について

項目	対応済	対応中	未対応	対応内容
本校舎のみの学食営業では、併設校の中・高校生の利用もあり、新型コロナウイルス感染防止の観点から三島駅北口校舎の学食営業を再開してほしい。		○		キャンパス内には、併設校の三島中学校・高校があり、大学生の他に多くの生徒が利用します。学内でのクラスター等を発生させないためにも食堂の分散は1つの手段として考えられますが、令和4年度の授業実施方針では、オンライン形式で開始することから一定数の利用者が見込めず、食堂業者との調整が難航しております。その代替策として、近隣業者による各校舎でお弁当販売を行い、食堂に学生・生徒が集中しない対策を講じています。
新型コロナウイルス感染症が収束し、対面授業再開後の新しい授業スタイルを検討してほしい。		○		学生にとってコロナ禍で行われたオンラインでの学修環境は、従来まで行われていた対面形式の授業が当たり前でなくなってしまいました。しかし、収束後は、本来の大学の姿である対面形式の授業に戻ります。対面授業での学び、人脈形成、サークル活動等、これらは社会人になる前の貴重な学びの機会となります。その中で、新しい授業スタイルの確立を考えていく必要があると思います。例えば、オンライン授業で活用したGoogle Classroomの継続活用、Zoomを利用したライブ配信授業の提供等はコロナ禍で学んだ有効的な手段として今後も活用していきたいです。
1年次の必修科目である「自主創造の基礎1・2」で学部間交流授業としてワールド・カフェを実施しているようにオンラインで、海外の大学との交流の場を増やしてほしい。	○			新型コロナウイルス感染症の影響により、本学部の特長である「留学」は中止としていますが、学生のニーズに応えるべく、オンライン留学を実施しています。オンライン留学に参加することにより、海外の提携校等との交流が深まり、語学力向上が期待され、単位認定も行われます。令和3年度は、ニューカッスル大学バーチャル文化交流プログラム、セント・ノーバート・カレッジ・オンライン留学プログラム、ゴア大学オンライン留学プログラムの3つを提供しました。コロナ禍で留学が困難な状況でも留学に値するプログラムを提供できるよう、提携校や学生との国際交流により、プログラムの充実化を図ります。

※①～③については、令和4年4月1日現在の対応内容となっており、今後の状況によって変更する可能性があります。

### 3 国際関係学部・短期大学部（三島校舎）から学生へのメッセージ

改善ミーティングを通じた積極的なご意見・ご要望ありがとうございました。今回、学生の皆さんのご意見・ご要望を受けて、大学としては、教育の質の向上を目的とした環境改善に向けて、できることからご対応をさせていただきます。令和4年度前学期授業実施方針に基づき、5月18日より教室の収容人数に対し50%未満の履修者数の科目は、対面授業を予定しております。今後、対面授業に向けての準備を進めていきますが、ここ2年間で培われてきたオンラインのメリットも有効利用しながら、より内容の濃い授業の実現や学生同士の交流の場の充実など、改善を図って参ります。